

質問調査結果から見られる改善のポイント

Point

ICT機器の活用頻度ではなく、ICT機器を**活用する効果**を知り、これまでの授業実践と**最適に組み合わせ**て活用することにより、「**児童生徒を主語とした**」**主体的・対話的な学び**」を充実させ、**資質・能力**を高めていくことが大切です。

◆文部科学省
「StuDX Style」



◆岐阜県教育委員会
「<学びを変える> ICT活用ガイド」

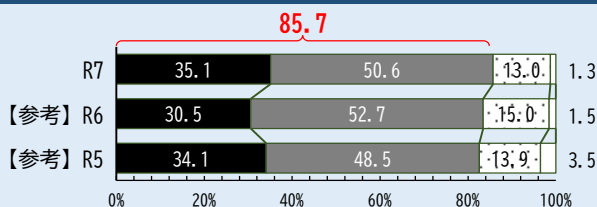


- ◆約8割の児童生徒が**主体的・対話的な学び**に取り組んだと考えています。
- ◆**主体的・対話的な学び**に取り組んだと考えている児童生徒ほど、**平均正答率・IRTバンド**が高い傾向が見られます。
- ◆**学習場面におけるICT機器の活用に対して効力**を感じている児童生徒ほど、**主体的・対話的に学ぶことに前向き**な傾向が見られます。

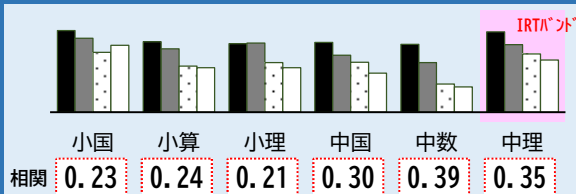
*R7美濃加茂市学校教育の方針と重点「1④主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」を踏まえた教育活動の取組状況

課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

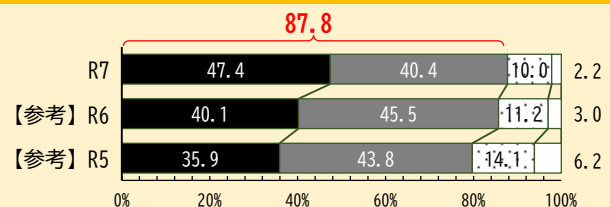


【課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ】
の選択肢ごとの各教科平均正答率・IRTバンド

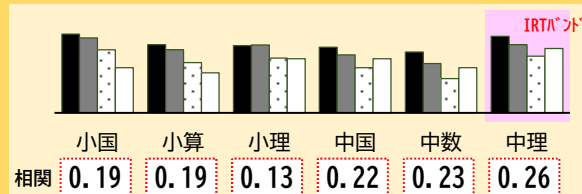


話し合う活動を通じ、考えを深めることができた

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

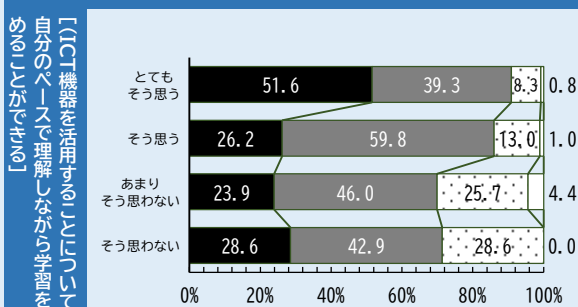


【話し合う活動を通じ、考えを深めることができた】
の選択肢ごとの各教科平均正答率・IRTバンド

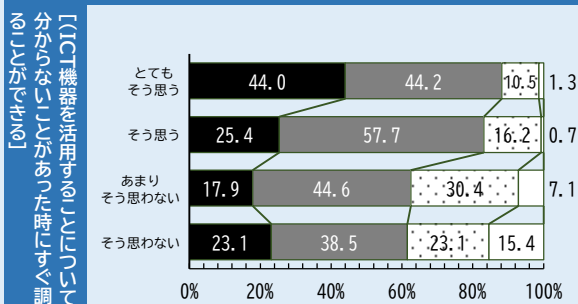


さらにICT機器の活用との関係を見ると…

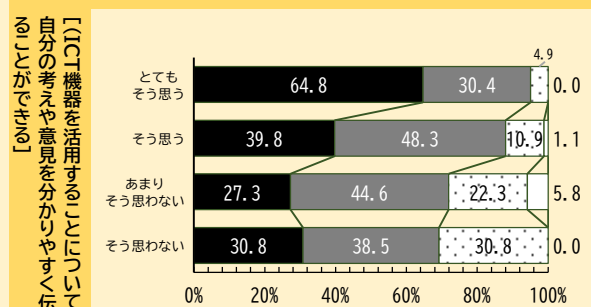
【課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ】



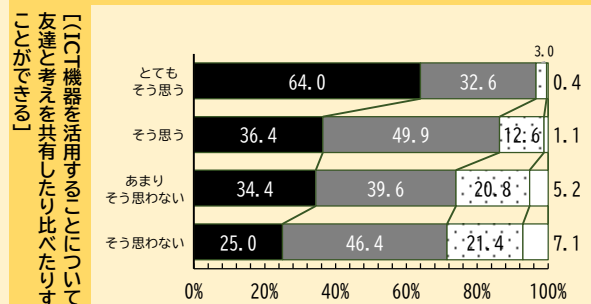
【課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ】



【話し合う活動を通じ、考えを深めることができた】



【話し合う活動を通じ、考えを深めることができた】



* 上記の質問以外の「主体的・対話的で深い学び」に関する回答でも同様の傾向。

美濃加茂市教育委員会の主な取組一覧

確かな学力と実践力の育成

第3次美濃加茂市教育振興基本計画1(3)

○指導改善に資する情報提供

- ▶ 全国学力・学習状況調査で明らかになった課題や指導のポイント等をまとめた本市独自の「**指導改善資料**」を作成するとともに、本市教育委員会学校教育課のWebサイトに掲載(各校において日常の授業改善に活用)。
- ▶ 市教育支援センターに、広く**教育関係研究物等**を収蔵保管し、先生方の閲覧利用に供し、研究・研修等を支援。

○学習指導の充実

- ▶ 効果的な指導方法の普及を行う「授業力向上研修」や、他校の研究授業に参加する「タイアップ研修」等、**本市主催の研修会**を実施。
- ▶ 本市独自に「**FROM-0歳プラン推進事業指定校**」を指定し(2年間)、各校に参考となる効果的な指導方法を研究するとともに、その成果を指定最終年度に公表。
[太田小] R7.11.6/[古井小・双葉中] R7.10.30

太田小学校の研究

★西中学校区

- #指導と評価の一体化を明確にした単元構想
- #見方・考え方を明確にした単元構想
- #主体的に学びに向かう学習活動
- #自己の学びを振り返る学習活動
- #教師の授業改善と適切な評価方法

太田小学校は可茂地区研修校

古井小学校の研究

★東中学校区

- #学ぶ喜び・学び合う楽しさ
- #主体的に学習できる問題提示や課題づくり
- #自己の学び方を選択できるような活動
- #自己の考えを広げ、深める活動
- #学習に関わる自分の気付きができる振り返り

双葉中学校の研究

★双葉中学校区

- #すべての活動の土台となる3K指導
- #学びを連続させる単元(題材)構成
- #見方・考え方を働かせる事業提示と課題解決の見通し
- #自分の学びを自分で進める学習過程
- #学ぶ楽しさを実感し、次への学びへとつなぐ振り返り

○学校のICT環境を活用した取組

- ▶ 本市の情報教育委員会において、**デジタル教科書や教材等の特性を生かした実践事例**を開発・提供。

豊かな人間性の育成

第3次美濃加茂市教育振興基本計画1(1)

○人権教育・道徳教育の推進

- ▶ 「**美濃加茂市あじさい小中学生サミット**」において**策定された宣言**を踏まえ、各校が児童(生徒)会を中止に「ひびきあい活動」を推進(児童(生徒)会新聞による交流)。

互いに広げよう「思いやりの心」

いじめによって、悲しんだり苦しんだりしている仲間はいませんか。「人として生きていく上で最も大切にすべきこと」それは、互いに思いやる気持ちです。誰もが気持ちよく通える学校にするために一人一人が「思いやりの心」を広めていきましょう。

- ▼あいさつの輪を、地域に広がります。
- ▼ネットルールを、定着させます。
- ▼環境を、美しく整えます。
- ▼仲間との絆を深めます。

R1. 8. 21採択 美濃加茂市あじさい小中学生サミット2019

○豊かな体験活動の推進

- ▶ 体験活動はひとつづくりの原点であり、人間的な成長に不可欠な教育活動。**学校外の教育資源を最大限に活用した体験活動**を意図的・計画的に創出。

ふるさとに自然に触れる体験研修 「ふるさと木曽川を感じる体験研修」

身近な川である木曽川で、仲間と協働してラフティングによる川下りと、ライフジャケットを着用しての水中浮遊を体験。



専門家を活用した講座等 「わくわくドキドキ プログラミング体験広場」

思い通りにドローンを飛ばすためには、どのようにプログラミングを行えばいいのかわからない。自ら意図するドローンの動きを実現するために試行錯誤。



専門家を活用した講座等 「ヤギさんふれあい教室」

本市策定「里山千年構想」の下、里山再生の一翼を担っているヤギさん。餌を食べさせたり、聴診器を当て心音を聞いたり、…。



○読書活動の推進

- ▶ 児童生徒の読書離れや各校の蔵書充足率格差を踏まえ、児童生徒が**日常的に本に接することができる環境整備及び取組**を推進。

第3次美濃加茂市教育振興基本計画(R7~R11)本文はこちらからご覧いただけます。
ぜひアクセスしてください!

